

令和 6 年度 第 1 回秋田県埋蔵文化財センター運営協議会
【概要・要旨】

令和 6 年度 秋田県埋蔵文化財センター運営協議会概要

名 称	秋田県埋蔵文化財センター運営協議会
設置根拠	秋田県埋蔵文化財センター運営協議会規定
設置目的	秋田埋蔵文化財センターの適正な運営と円滑な事業の推進を図るため
委員構成	委員長 1 名 副委員長 1 名 委員 8 名 計 1 0 名（うち女性委員 2 名） ※ 定数 1 0 名以内
委員任期	2 年間：令和 5 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで
第 1 回	令和 6 年 6 月 1 1 日 1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 5 5 埋蔵文化財センター第 1 研修室

令和6年度 第1回秋田県埋蔵文化財センター運営協議会 要旨

1 日 時：令和6年6月11日(火) 14:00～15:55

2 場 所：秋田県埋蔵文化財センター 第1研修室

3 出席者

委員：8名

小松 正夫	委員長	(前秋田考古学協会会長)
安杖千佳子	委員	(仙北地域振興局総務企画部地域企画課課長)
小坂 靖尚	委員	(横手市立浅舞小学校校長)
佐々木淳一	委員	(柵の案内人 大仙市ほたるの会会員)
星野 友実	委員	(大仙市立高梨小学校校長)
武藤 浩紀	委員	(美郷町立千畑小学校校長)
山崎 裕子	委員	(山崎ダイカスト株式会社取締役管理部長)
渡部 育子	委員	(国立大学法人秋田大学名誉教授)

事務局：7名

磯村 亨	所長(兼 払田柵跡調査事務所長)
大泉 真	副所長
佐々木敬隆	副主幹(兼)総務チームリーダー(兼 払田柵跡調査事務所副主幹)
吉川耕太郎	副主幹(兼)調査チームリーダー (兼)払田柵跡調査事務所調査チームリーダー
村上 義直	主任文化財専門員(兼)中央調査チームリーダー
新海 和広	副主幹(兼)資料管理活用チームリーダー
堀川 昌英	主任学芸主事

※欠席者：2名

栗林 靖雄	副委員長(美郷町立六郷小学校校長)
和田 英範	委員(南教育事務所仙北出張所所長)

4 協議内容

(1) 令和5年度事業報告

- ① 令和5年度 事業報告(調査関係)
- ② 令和5年度 事業報告(活用・普及関係)
- ③ 令和5年度 各種活用事業別参加者数の推移
- ④ 令和5年度 学校の利用状況
- ⑤ (参考) 令和5年度 払田柵跡調査事務所 調査成果の普及と関連活動

(2) 令和6年度事業計画

- ① 令和6年度 発掘調査・整理、確認調査一覧
- ② 令和6年度 活用普及事業計画
- ③ 令和6年度 払田柵跡調査事務所 事業計画

(3) 本年度の事業等についての提言

5 委員からの御意見・御提言(抜粋)

- ・オープンラボの参加人数も集計に反映できるように。他の新しい取り組みもカウントできるようにしていただきたい。
- ・講演会のPRに力を入れてもらいたい。他にもイベント活動を行うことがあれば、地域振興局でもSNSで宣伝可能。広報に関して要望があれば協力したい。
- ・展示の解説文は大人が読むとすぐにわかる。子どもたちも見ていくことになると思うが、意外と漢字が読めないなので、ふりがなをもう少しつけていただきたい。
- ・素晴らしい遺跡があること、近くに古代のものがあることが勉強になる。埋蔵文化財センターでもいろいろな企画をしてくれており、ありがたい。
- ・低学年の子どもでも見学させてもらえてありがたい。どんどん歴史を学べる場になっていければと思う。
- ・体験を通して学ぶことは小学生の学習では大切なこと。職場体験として来る意味も非常に大きく、働くことの意識を育てていきたいと思うし、そのような機会をこれからも持っていただきたい。
- ・新しい試みと継続していくものと取捨選択していかななくてはいけない。事業の進め方など、方向性で迷ったときにこの運営協議会で問いかけをするようなことがあってもよいのではないか。報告だけでなく、そのようなやりとりができる運営協議会になればと思う。
- ・埋蔵文化財センター40周年について「土に聴け」に集約されており素晴らしい。次の50周年に向けて、今からセンターの建物の建て替えを視野に入れて取り組んだらどうか。
- ・金曜講座はこれだけのメンバーでこれだけの内容で講演するのに、会場が埋蔵文化財センター第一研修室（定員24名程度）だけではもったいない。

6 センターより(抜粋)：

- ・たいへんためになる御意見をいただきありがたい。今すぐにできないこともあるが、できることから取り組んでいきたい。少し時間をかけてやらなければいけないこともあるので、長い目で御覧いただきたい。